

談話室

東京海洋大学
客員准教授
さかなケン

profile

東京海洋大学客員准教授。
豊富な魚の知識と経験に裏付けされたお話や、そのキャラクターが幼児からお茶の間まで大人気。魚や海・自然への興味を引き出し、漁業・食と環境保全への理解が増すよう、全国規模で講演を行う。



——学生時代の思い出について教えてください。

はい！中学生の時は、水槽学と勘違いして吹奏楽部に入部しました。勘違いではあったのですが、いろいろな形や音の楽器があって、おもしろいなと思って、3年間つづけました。

高校に入学してからはフィールドワーク部という登山をする部活でした。タンポポをいっぱい引き集め、炒めてコーヒーを作ったり、山に登って食材を集めて自炊したりしました。顧問の先生からは、「魚ばかりじゃなくこういうものも食べた方がいいぞ。」と教わりました。

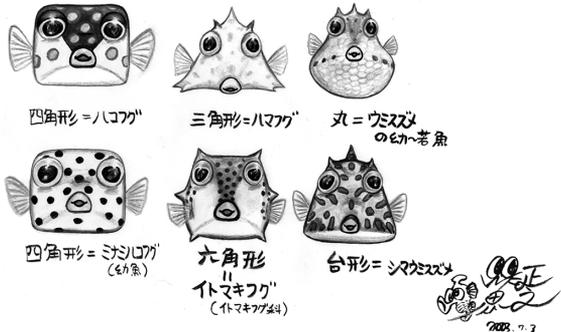
部活が終わった後は、スーパーの鮮魚コーナーでアルバイトをしていました。お店の人から「アジを洗って！」と言われて、水道水でジャーっと洗ったら、ぴかぴかに輝いていたマアジが真っ白になってしまい、ギョエ～!!「何やってんだ！アジは海の魚だろ!!塩水で洗いなさい!!」と怒られました。怒られてばかりでしたが、そこで魚の扱い方を教わりました。

高校3年の春には、テレビ番組の魚通選手権に出場しました。その時は、残念ながら決勝戦で敗れてしまいました。本来、一度敗れるとその後は出場できないのですが、放送をギョ覧になられた皆様が「あの高校生面白い」とか「また見たい」といったメッセージをテレビ局に送ってくださって、もう一度出場する機会をいただき、そこから5連覇することができました。

——数学の授業はどうでしたか？

ギョめんなさい。数学はちんぷんかんぷんでした。数学の先生からは、「またこんな点数とって、赤点だぞー。」と言われたこともありました。

ただ、お魚の形には数学に通じるもの多くて、ハコフグの仲間も三角形、四角形といろいろです。



また、ほとんどの生物は左右相称ですが、左右相称でないお魚がいます。それは、ヒラメやカレイの仲間です。生物の中でも非常にめずらしいと言われます。お魚にしても、建物にしても数学をもとにつくられているもの、数学に通じるものとても多く多いと思います。例えば、小学校では「リングが3つありました…」など、物で例えられることが多かったと思います。高校の授業においても、普段の生活にある物で例えて表現していただくと、より授業がおもしろくなると思います。

——数学の先生を魚に例えると？

ジョーフィッシュでギョざいます。ギョロ目と大きなお口のユニークなお顔ですが、行動を見ると実におもしろいんです。ジョーフィッシュのジョーはジョーズのジョーと同じで「あご」という意味なんです。その大きな口と丈夫なあごをつかって小石や小さな岩などをくわえては積み重ね、自分のおうちをジョーズ(上手)につくっていくんですね。でも、これがわずかにでもバランスが崩れると全部埋もれてしまうわけです。本当によく計算して積み重ねているなと思います。そんなところが数学の先生に通じるなと思うのでギョざいます！ (次号に続く)

通巻第68号
2014年 2月 5日 印刷
2014年 2月 10日 発行

© 編修・発行

実教出版株式会社

代表者 戸塚雄弐

定価(本体200円+税)

発行所 〒102-8377 東京都千代田区五番町5

TEL. 03-3238-7777

http://www.jikkyo.co.jp/